

## 令和7年度 第2回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和8年2月25日(水)  
開会：10時30分 閉会：11時30分
- 2 開催場所 山北町役場 防災対策室
- 3 出席者(敬称略)
  - (1) 委員 6名  
山北町長 湯川 裕司  
山北町教育委員会教育長 水野 博文  
山北町教育委員会教育長職務代理者 野地 泰次  
山北町教育委員会委員 今村 敏雄  
山北町教育委員会委員 佐藤 直美  
山北町教育委員会委員 藤原 千夏
  - (2) 事務局 3名  
参事兼企画総務課長 露木 博文  
企画総務課主幹 高橋 和久  
企画総務課副主幹 瀬戸 靖
  - (3) オブザーバー 2名  
こども教育課長 池谷 栄  
生涯学習課長 畠山 佐和子
- 4 傍聴者 0名
- 5 会議概要
  - 1 開会 参事兼企画総務課長
  - 2 町長あいさつ 湯川町長
  - 3 教育長あいさつ 水野教育長

#### 4 議 題

湯川町長

それでは、議題（１）「令和８年度当初予算案の概要について」に入らせていただく。

令和８年度当初予算案の概要については、先般２月１６日に町議会全員協議会において、私から議員の皆様にご説明し、また、同日、小田原記者クラブにおいて記者発表したところである。

事務局からの資料説明の前に、私から来年度の当初予算編成の方向性について簡単に説明させていただきます。

令和８年度当初予算については、山北町第６次総合計画を基本に、こども・子育て支援、及びDX・GXの推進に重点をおき編成した。

教育関係の重点事業としては、川村小学校の長寿命化工事を実施するとともに、小中学校の体育館へ空調設備を設置することで、安全で快適な学習環境を整備する。また、園や小中学校の給食費の無償化を図り、保護者の経済的な負担の軽減を図る。

また、こども・子育て支援については、受験を控えた中学３年生を対象としたインフルエンザワクチンや、乳幼児を対象としたおたふくかぜワクチンの接種費用を全額助成する。

さらに、新たに５歳児検診を実施するとともに、産婦人科・小児科の２４時間オンライン相談を開始し、安心して出産・子育てができる環境づくりを整備していく。私からは、以上である。

それでは、事務局から資料の説明をお願いしたい。

事務局

～ 資料により説明 ～

湯川町長

ただいまの説明について御意見、御質問があれば発言をお願いしたい。

佐藤委員

ファミリーサポート事業は、どのような事業なのか。

事務局

こどもの預かりや家事のサポートなどを有償で行う事業であり、NPO法人マミーに委託して実施している。

野地委員	利用状況はどうか。
事務局	令和6年度の延べ利用者は、284名、令和7年度は、1月時点で233名である。
今村委員	産婦人科・小児科の24時間オンライン相談について説明願いたい。
事務局	妊産婦や子育て世帯の方の不安を取り除くために、産婦人科医や小児科医、助産婦による電話やLINEを利用した相談や、ウェブサイトでのオンライン相談を行うものである。
湯川町長	その他に御意見、御質問があればお願いしたい。 ※意見、質問等なし
湯川町長	次に、議題（2）「山北町立学校教職員の業務管理・健康確保措置実施計画について」に入らせていただく。池谷こども教育課長から資料の説明をお願いしたい。
池谷課長	～ 資料により説明 ～
湯川町長	ただいまの説明について御意見、御質問があれば発言をお願いしたい。
野地委員	この計画では、教職員の長時間勤務を是正するために、時間外在校等時間について月45時間を超える教職員や、年360時間を超える教職員の割合を0パーセントにすることを目標としている。しかし、教職員が多忙すぎる現状の中で、時間外在校等時間を減らすことは、教職員が仕事を家に持ち帰ることにつながり、情報漏洩の危険も高まる。教職員は授業時間を減らして欲しいと思っているが、そのためには県費負担教職員を増やすしか方法はなく、それが可能でないならば、目標達成は極めて難しいと思う。町が学校支援員を配置してくれるのは、大変ありがたいことであるが、それが教職員の放課後の仕事を減らすまでには至らない。計画に目標を立てることは良いが、この目標は、現実とはあまりにかけ離れていると思う。
湯川町長	教職員は皆、日々仕事に追われているので、誰かが欠ければその人の仕事を誰かが負担しなければならず、個人の仕事量がさらに増大する。

- 野地委員 教職員の年次休暇については、指導しても中々取得することが出来ず、取得率も低い。誰かが休暇を取得すると、その方の仕事を他の教職員が補填しなければならない。
- 水野教育長 近年、男性教職員も育児休業を取得するようになってきたが、休んだ方の仕事をカバーすることは難しいようだ。国では、授業数の見直しを検討するようであるが、教職員の働く場の環境づくりは、今後も考えていかなければならない。
- 今村委員 この会議の場において、教職員の生の声を報告してもらいたい。
- 池谷課長 計画の実施状況は、毎年度、総合教育会議で報告することとなっているので、目標に対する実績値だけでなく、教職員の声を聴き現状なども併せて報告したいと思う。
- 藤原委員 教職員の方々には、私自身日頃から感謝しており、より良い環境で働いてもらいたいと考えている。教職員はこどもに何かトラブルがあると、放課後も学校に残らざるを得なくなる。保護者と教職員とで話し合いながら、より良い労働環境づくりを進めてもらいたい。
- 湯川町長 その他に御意見、御質問があればお願いしたい。
- ※意見、質問等なし
- 湯川町長 次に、議題（3）「教育の諸課題について」に入らせていただく。今回は特にテーマは設けていないので、御自由に発言をお願いしたい。
- 佐藤委員 この前、山北町をロケ地としたテレビ番組が放映されたが、町民でも知らない場所が映るなど大きな反響があったようだ。こどもたちにも、山北町のことを良く知ってもらうため、町内のものを見て、触れて、聞くような学習を進めてもらいたい。
- 野地委員 過日開催した社会教育委員の会議において、町の文化をこどもに伝えて、それをしっかりと認識させることが必要という話があった。また、本町が進めている0歳から15歳までの一貫教育・保育においても、こどもたちに自分の町

の素晴らしさを伝え、それを認識させることが、大人になった時に何らかの形で必ず役に立つとしている。

湯川町長

町民の中にも、流鏝馬などの文化財を見たことのない方もいるようだ。山北町に住んでいるのであれば、こどもの頃からそうした文化財を見ることも必要と考える。

その他に御意見、御質問があればお願いしたい。

※意見、質問等なし

## 5 その他

事務局

事務局から事務連絡をさせていただく。次回の会議については、11月頃に開催する予定である。

## 6 閉 会 参事兼企画総務課長

以 上